

科目名	精神保健福祉援助演習（専門）Ⅱ					単位	2.0
担当教員	吉田 みゆき						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	4	授業番号	2328

●授業のテーマ

精神保健福祉士に求められる知識と技術について、実習体験を考慮し実践的に習得する。

●到達目標

実習における個別的な体験から、相談援助の具体的実践と関係機関との連携について理解する。

●学習内容(授業概要)

具体的な援助場面を想定したロールプレイや、体験学習を中心とした演習形態により、個別指導並びにグループ指導を通して、実習における個別的な体験を一般化することで、相談援助の知識・技術を学ぶ。

●学習内容(授業計画)

1. 実習のまとめに向けて一視点と内容
2. 実習体験の報告①（精神科医療機関その1）
3. 実習体験の報告②（精神科医療機関その2）
4. 実習体験の報告③（障害福祉サービス事業所その1）
5. 実習体験の報告④（障害福祉サービス事業所その2）
6. 精神科医療機関における個別相談援助の具体的実践
7. 精神科医療機関における多職種や関係機関との連携を通じた援助
8. 精神科診療所における個別相談援助の具体的実践
9. 精神科診療所における地域の精神科病院や関係機関との連携を通じた援助
10. 障害福祉サービス事業所における個別相談援助の具体的実践
11. 障害福祉サービス事業所における多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチ
12. 障害福祉サービス事業所における社会資源の活用、調整、開発
13. 障害福祉サービス事業所におけるアウトリーチ、ネットワーキング
14. 障害福祉サービス事業所に求められる機能と課題
15. まとめのレポート作成

●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業テーマの下調べをすること。

毎回の授業の感想を提出すること。

●成績評価方法・基準

レポート 25%、集団議論の進行・内容 25%、発表及び内容 50%による総合評価。

●テキスト（必携）

特に指定しない。資料等配布する。

●参考文献／その他

新・精神保健福祉士養成講座 8 『精神保健福祉援助演習（基礎・専門）』, [編集] 日本精神保健福祉士養成校協会, 中央法規出版.

●履修上の注意

精神保健福祉士国家試験受験資格課程履修者は必修科目である。
演習ではグループワーク等, 積極的に参加すること。